

科目	「問11. 授業の難易度」、「問12. 一回当たりで扱われる授業内容の量」、及び「問13. この授業のための週当たりの学習時間」に対する学生による評価をみて、どのように考えられますか。また、改善案があればお書きください。
Sp	・授業の難易度、授業内容の量、ともに80%以上の高い割合でちょうど良かったと答えており、担当者の計画どおりの指導で良いと思われる。
Sp	授業の難易度に関しては、「ちょうどいい」と回答した学生がほとんどであり、若干名が「易しすぎる」、「難しい」であった。今回はラケットスポーツ(テニスまたは卓球)を取り入れたため、ラケットスポーツの特性を理解するために時間を配分した。そのため、理解している学生にとっては易しすぎたと考えるが、本講義の目的からすると、授業難易度は適正であったと考える。 一回当たりで扱われる授業内容の量に関しては、「一つのコマで1つの基礎技術の理解」を目的とした。学生の回答ではほとんどが「ちょうどいい」と回答したため、適切であったと考えるが、理解の早い学生にはより難易度の高い課題を提供する必要があると考える。 この授業のための週当たりの学習時間では、講義内での課題の達成を目的としたため、講義外での学習時間がなかったものとする。
Sp	体力差が男女では大きい場合が多いため、そこをもう少し改善しながら運動量を調整したい。
Sp	どちらの授業とも難易度に関してはちょうどいいという回答が多く得られたの良かった。量に関してはちょうどいいという回答が多く得られたが、なかには量が少ないという学生もいたので改善していきたい。
Sp	授業の難易度に関しては、「ちょうどいい」と回答した学生がほとんどであり、若干名が「易しすぎる」、「難しい」であった。トレーニングでは部活などで行っている学生にとっては当たり前の内容であるが、普段トレーニングを行わない学生にとっては「ちょうど良い」と思われる難易度であったと考える。より深く理解したい学生にはさらなる課題が必要である。 バドミントンでは、部活で実践してきた学生には易しすぎる内容であった。しかし、バドミントンは学校体育ではあまり触れることのないスポーツであるため、基礎から展開する必要があると考える。そのため、難易度としては概ね適切であったと考える。 一回当たりで扱われる授業内容の量では、ほぼ「ちょうど良い」であったことから、継続して行きたいと考える。 この授業のための週当たりの学習時間では、講義時間内に課題を終わらせられる様に展開した為、講義時間外では学習時間がほとんどなかったと考える。また、トレーニングやバドミントンは授業時間外で実施するには設備が必要であるため、ハード面の影響もあると考える。
Sp	・授業の難易度、授業内容の量、ともに80%以上の高い割合でちょうど良かったと答えており、担当者の計画どおりの指導で良かったと思われる。
Sp	・実技科目においては、一般的に授業の難易度は技能面、授業の内容の量は体力面に影響される傾向があるため「ちょうどいい」に落ち着くような授業内容構成となりやすいと考える。よって、同じ講義科目でもクラスによっては難易度(技能面)で「易しすぎる」「易しい」の割合が多くなったり、またこの授業のための週あたりの学習時間では実技時間が含まれるため体力面も影響し「1時間以内」がほとんどであるが「1時間以上」が多いクラスのとときもある。改善策としては、習熟度別(経験年数)や体力を反映したクラス編成をすることも大切であるが、授業(実技)の内容とあわせて教育目標をしっかりと学生に理解させることがもっとも重要だと考える。
Sp	もう少し増やしたい。